

# 前立腺癌の検査

## について

日本臨床検査専門医会  
菊池 春人



### ■前立腺癌とはどのような癌ですか？

前立腺は精液の一部を産生する臓器ですので男性しかありません。膀胱のすぐ下に尿の通り道である尿道を囲むように存在し、栗の実のような形をしています。前立腺癌はこの前立腺から発生する癌で、日本の2004年の統計では男性では3番目に罹患率(新たに癌と診断された率)の高い癌ですが、年齢とともに増加し、特に60歳代後半からが癌になる人数が多くなっています。

### ■血液検査で分かると思いましたが

前立腺癌の血液検査としては、PSA(前立腺特異抗原)がすぐれた検査としてよく知られていて、最近地域の健康診断や人間ドックの項目として行われることが多くなってきています。この検査によって80~90%の前立腺癌が発見できるとされています。(日本泌尿器科学会 前立腺癌診療ガイドライン) 4.0 ng/ml 以上を異常とすることが一般的ですが、それ以下でもガイドラインでは定期的に検査を受けることが推奨されており、再検診の時期は、PSAが1.1ng/ml~4.0ng/ml以下では

毎年、PSAが1.0ng/ml以下では3年ごととされています。

### ■前立腺癌でなくてもPSAが高くなることはありますか？

PSAはもともと正常の前立腺でも産生されているものなので、癌以外の前立腺の疾患である前立腺炎や前立腺肥大でも高くなります。そのため、PSAの値からだけでは癌との区別がむずかしい場合も多いのでPSAが高い場合は次の項で述べるように診察と詳しい検査を受けてください。

### ■前立腺癌の検査(PSA)が高いといわれましたが、どうしたらよいですか？

泌尿器科を受診してください。泌尿器科では前立腺の触診(肛門から指を挿入して前立腺の状態を診察する)あるいは前立腺の超音波検査(肛門から専用の器具を入れて前立腺の画像を超音波で描き出す検査)を行います。その所見、さらに年齢、PSA値などを参考として癌の可能性がある場合は、前立腺の生検を行います。これは前立腺に細い針を刺して、前立腺の一部を採取し、顕微鏡で観察することで癌の有無を確認する検査です。一般的には超音波で前立腺を描き出しながら6ヶ所かそれ以上の場所から採取します。前立腺癌と診断された場合は、さらにどこまで癌が広がっているかの検査として、CTスキャン、MRI、骨シンチなどの検査を行ったうえで治療を行います。治療法としては手術、放射線、ホルモン療法がありますが、癌であってもすぐに治療せず経過をみる待機療法をとることもあります。

